

町長に移住アイデアを提案しよう (さまざまな土地の暮らし)

本単元で育成する資質・能力

「自分を見つめ育てる心」「本質を志向する価値観」
「思考力・判断力・表現力」

1 日 時 令和元年6月10日(月) 5校時

2 学 年 第5学年 14名

3 単元観

学習指導要領 2 第5学年の内容(1)

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。

学習指導要領 1 第5学年の目標 学びに向かう力、人間性等

(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

この単元の本質的な問いは、「地域の人々の暮らしや産業は、その地域の気候や地形とどのように関係しているのか。」である。本単元は、国土の南と北、太平洋側と日本海側での気温や降水量による気候の違いといった特色があり、それぞれの地域で暮らす人々は自然環境に適応しながら工夫して生活していることを取り扱う。なお特色ある気候の事例地としては「沖縄」「北海道」「岐阜県」を扱う。これらの地域について気候の特色や人々の生活、産業の様子など調べたことを関連付けたり、総合的に考えさせたりすることで、社会的事象の意味について考えることにもつながると考え、本小単元を設定した。

4 児童観・指導観

(1) 実態把握を学習過程の工夫と学習環境の工夫に活かす

これまでの社会科の授業を通して、新潟県と東京都の気候の違いを雨温図から読み取ることは多くの児童ができた。しかし、他の資料と関連付けて季節風と降水量の関係などを読み取ることは課題がみられた。資料を関連付けて読み取ったり、観点を定めて調べたりするための手立てが必要である。

また、一斉の単線型の単元計画において、興味関心に対応できにくいため学びに意欲的になりにくい児童の姿もみられた。児童に個別最適化した学びの提供が求められる。

○対象児童のつまずきとその要因分析

児童は、4年「県の様子」の学習で、教科書の文章及び資料理解が難しかった。日常的にも「木の葉」という字を見て「このは」と読めるが、指す内容は理解しておらず意味を漢字から類推して考えることが苦手である。反面、授業で学習した「山地」などの用語は実物と結び付けて理解している。

大きな問いをもとに調べ、まとめ、表現していくような自ら学びを作っていくことが苦手であるがそれは児童のもつ語彙量も影響をしていると考える。語彙へのサポート及び細やかな問題解決を通して学びを形成していくような手立てが必要である。

(2) 学習過程の工夫

- ・児童の学びを自分事にさせるために、「町長に移住アイデアを提案しよう」という目的を設定する。沖縄と岐阜と北海道の3つの地域それぞれで人々は自然条件に適応して暮らしていることを理解できるようにする。
- ・自由進度学習による学習過程をとることで、学びの計画・実施・振り返りを児童自身にコントロールさせる。

○対象児童のつまずきに対する手立て

- ・教科書内容を網羅できる基本的な学習プリントを作成し、小さな問いの連続で自力学習ができるようにする。

(3) 学習環境の工夫

- ・基本的に個別学習の形態をとるが、環境によって自然発生的な対話的な学びを生み出すために成果物を掲示するコーナーにマットを敷く。
- ・資料を関連付けて読み取ったり、観点を定めて調べたりする力をつけるために、資料から読み取った内容を付箋に記させ、他の児童に見えるようにしたり、資料の読み取り方について掲示をしたりすることで自ら資料を読み取れるようにする。
- ・パソコンを利用できるようにしておき、Bookmarkに参考資料のURLを入れておく。

○対象児童のつまずきに対する手立て

- ・掲示物のテーマを見えやすくし、どこかの資料をみれば何が調べられるか分かるようにする。
- ・放課後学習を使い、教科書の内容を音読でき意味が分かるようにする。

5 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
- 人々の生活はその立地条件に影響を受けており、とりわけ農業や暮らしについては自然条件である高低差や気候に適應して生活していることを理解している。 - 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることができている。	【資】思考力・判断力・表現力 国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することができている。	【資】本質を志向する価値観 - 移住アイデアについて、進んで考えたり提案したりしようとするとともに、地域の発展を願っている。 【資】自分を見つめ育てる心 - 自分の学びの状況（内容や方法、進捗度）を捉え、好転するよう努力している。

6 単元計画（11 時間）

次	学習活動	指導上の留意点
1	課題設定 1時間一斉指導 【学習課題の設定】 移住政策を提案するという単元のねらいをもつ。 ・学習計画を立てる	- 町長から神石高原町の移住政策について聞き、アイデアの提案依頼を受ける。 - 移住人気ランキングを見てみよう。 先生クイズ：今から学ぶ、広島、沖縄、北海道、岐阜県ではどこが人気だと思う？ C：沖縄、海がきれい。北海道、雪で遊べるから人気だと思う。 C：調べると北海道は第3位、広島は6位で人気は高い。沖縄、岐阜は20位内に入っていないね。 C：広島県内ランキングで見ると広島県の人気は高くても神石高原町は載っていないよ。 C：町長さんも神石高原町の移住を増やそうと取り組んでいるね。 C：移住が増えたら子どもも増えるし、町におさめる税金が増えるから町にとってもいいね。 学習課題：沖縄、北海道、岐阜県の気候や地形をいかしたくらしや仕事を調べて、神石高原町の移住アイデアについて町長さんに提案しよう。 - 児童と7時間の中で4枚の学習プリントとスペシャル学習に一つ以上取り組むという契約を結ぶ。なお7時間は単元計画表を見て学習計画を立てさせる。進んで家庭でも学習を進めたがる児童もいるはずである。そういった学び方も認め、その分スペシャル学習を充実させる。 - スペシャル学習について例示する。（なお発展のさせ方はこの限りではない。） ① 地方版人生ゲームを作って町長さんに見せてみよう。②移住パンフレットを作って町長さんに提案しよう。③移住おすすめ動画を作ろう。④ねん土などを使って各地のくらしの模型を作って各地のくらしのくふうをもとに移住アイデアを説明しよう。⑤町長さんに移住アイデアをスピーチしよう。⑥その他自分たちでできそうなことを考えてもOK
2	情報収集・整理分析 7時間自由進度 - 選んだ地域について調べる。 1時間一斉指導 - 地域の特色について学んだことを発表しあい共通点を見付け考えをまとめる。 まとめ・創造・表現 自由進度 - スペシャル学習に取り組む。	8時間の計画のうち6時間を自由進度（プリントとスペシャル学習）1時間を一斉の話し合い活動で行う。全員がプリント学習を終えた段階で相互の学びを交流し、各地で自然条件によって人々がくふうしてくらしを営んでいることをおさえる。その後スペシャル学習を行う。なお、プリント学習を早々に終えた場合は、話し合いより先にスペシャル学習に取り組ませる。 - 各自の計画によって4、5枚の学習プリントに取り組ませる。 ①気候や地形の特色 ②気候や地形を生かしたくらしのくふうや特色 ② 候や地形を生かした産業のくふうや特色 ③ NHK for schoolを見て気付きをメモ - 学習環境としてパソコンなどのICTを自由に利用させる。 - 掲示物として児童に学びの文脈を感じさせるために神石高原町や各地域の移住政策について載せたり、移住する人のニーズ（高い方から仕事・自然環境・住居）を示したりする。 - 毎時間、学習進度や学び方の振り返りを行い、どのような学習が効果的だったか共有する。 - 児童の振り返りを毎回学級通信などで紹介し、評価を行う。 - 話し合い活動では、他の地域の特色をメモさせたり、各地域に共通することに対する自分の考えを書かせたりする。
3	実行・ふりかえり 2時間一斉指導 - 町長に提案する。 - 単元の振り返りを書く。	- 町長に提案する。公民館に発表ブースを作り回してもらおう。 児童に評価基準を示しておく。（パフォーマンス課題の欄を参照） - 町長にフィードバックを求める。（各地域のくらしや産業の工夫が伝わったか、児童のアイデアが伝わったか、アイデアは実現できそうか。） - 単元全体を通した振り返りを書かせる。

7 パフォーマンス課題

町長さんに移住アイデアを提案しよう。

8 パフォーマンスの評価基準 (ICE ルーブリック)

	I (個別の知識レベル)	C (関連付けられた知識レベル)	E (応用レベル)
評価基準	各地のくらしや産業のくふうを伝えることができる。	各地のくらしや産業の工夫からポイントを見つけ、神石高原町でも取り入れることを提案している。	各地のくらしや産業の工夫からポイントを見つけ、神石高原町でも取り入れることを具体的に提案しており実現可能性の高いものである。
反応例	沖縄では、高温多湿という気候でもくらしやすいようにこんな建物の工夫があります。模型を作ったので見てください。	沖縄では、高温多湿という気候でもくらしやすいようにこんな建物の工夫があります。模型を作ったので見てください。神石高原町でも建物の工夫のことを伝えたら移住したい人も安心して移住できると思います。	沖縄では、高温多湿という気候でもくらしやすいようにこんな建物の工夫があります。模型を作ったので見てください。神石高原町は雨温図を見ると冬の寒さに特徴があります。薪ストーブを使ったらあたたかい薪ストーブがある家はあこがれるし、町がお金を出してくれることをしっかり伝えたら住みたくなると思います。

9 本時までの児童の学び

実際は全ての児童のこれまでの学びについて記載した物を配布し、その児童が本時どのような学びをしていたかを協議しています。

児童のケース1

語彙の獲得が苦手なようである。例えば「木の葉」「聞き手」「話し手」などの意味が理解できていない。個別の語彙が不足している点が課題として挙げられるが、漢字の意味から類推的に語彙を増やしていくことに困難があるのではないかと考えている。社会科の教科書内の用語も理解できないものがある。しかし国語辞典を使うことが難しく辞典を読んでも理解が難しいため国語辞典はまだ使わせていない。その分放課後学習で教科書を音読させ、意味を教えたりするなどのサポートを行っている。

授業において語彙が理解できず、つまづく点が見受けられる。しかし、彼女なりに意味を探りながら学びを進めている。前単元で獲得した「平野」「山地」という用語から地形に興味をもち、低地である岐阜県海津市を選択して学んでいる。また語彙についてつまづいた場合に担任に助けを求めることができる。つきっきりで丁寧に語彙を教えサポートすることもできるが、自分で学ぶ力をつけるという点から原則彼女の求めに応じるようにしたい。授業後のプリントへの朱書きでフォローを行うが、彼女の求めがあればサポートを行う。

現在、近所に住む外国から移住した家族へのインタビューを本人が計画している。単元開始の時に本人が計画したが、家に帰るとインタビューをすることを忘れていたそう。この土日にインタビューをできるよう声掛けをしてある。インタビューをしてきたら授業内でしっかり評価を行いたい。

児童のケース2

学習進度は遅れている。しかしそのことに危機感を感じ、自分で休憩時間でも学習を進めようと努力するようになった。第1回の振り返りでは、パソコンで調べてあまりできなかったことが振り返られており、第2回の振り返りでは、教科書で学びを試みてうまくいったことが振り返られている。学習方法を自分で見つめ直して改善することができている。自主的に学んでいるので家庭での自主学習でどこまでやってくるかがわからないが、おそらくプリント学習を本時では進めることになるだろう。

10 本時の展開

※単元内自由進度学習は、同時に多種多様な学びが展開されるため、ねらいも評価も各自によって異なる。そのため指導案上にもねらいと評価基準を記載しない。

展開	学習活動への支援		
1 評価	前時までの児童の振り返りから発見した学習方法や態度の学びについて授業者が評価を行う。		
2 進度確認	対象児童への手立て	全体指導	アフォーダンスの視点から
3 調査活動 スペシャル学習	※ 以下の支援を行う。 ・どこで悩んでいるかや、どの資料を使うと調べられるかを問い、問題の所在を明らかにする。 ・問題解決的な思考ができるよう、課題に対して予想をさせる。 ・困った時に教師に尋ねるだけでなく他の書籍を見たり、自分で掲示を見て回ったりするなどの自力での解決方法を促す。 ・児童の状況に合わせて、活動を促したり、課題解決に必要な資料をこちらから限定して提示したりする。	・できるだけ自分の力で学習しよう。 ・調べる学習には教科書や資料集、掲示、インターネットなどの資料が使えますね。 ・どんな調査方法が効率よく学べるか考えよう。 ・今やっていることが学びになっているか自分で判断しよう。 スペシャル学習に取り組む児童 ・最後にはどんなものに仕上げようと思っていますか。 ・町長さんとの話し合いに使えるものになりそうですか。 ・作品段階（評価基準）のどこをねらいますか。	・教室や廊下に関係資料を掲示する。児童が資料に関心をもてるよう、児童の目の高さに資料を配置する。 ・対話的な学びが自然と生まれるように、各地域で自然条件を生かしたりうまく付き合ったりしている事例をホワイトボードパーテーションに貼らせる。足元にマットを敷く。 ・プリントが終わるごとに学びを付箋に2枚以上書かせ、掲示板に貼らせる。そのことで学習が停滞していた児童のヒントとなるようにする。
4 振り返り	授業者が活動の中で見つけた学習方法や態度のよさについて評価を行う。 児童も振り返りシートに学習方法や態度について振り返りを書く。		